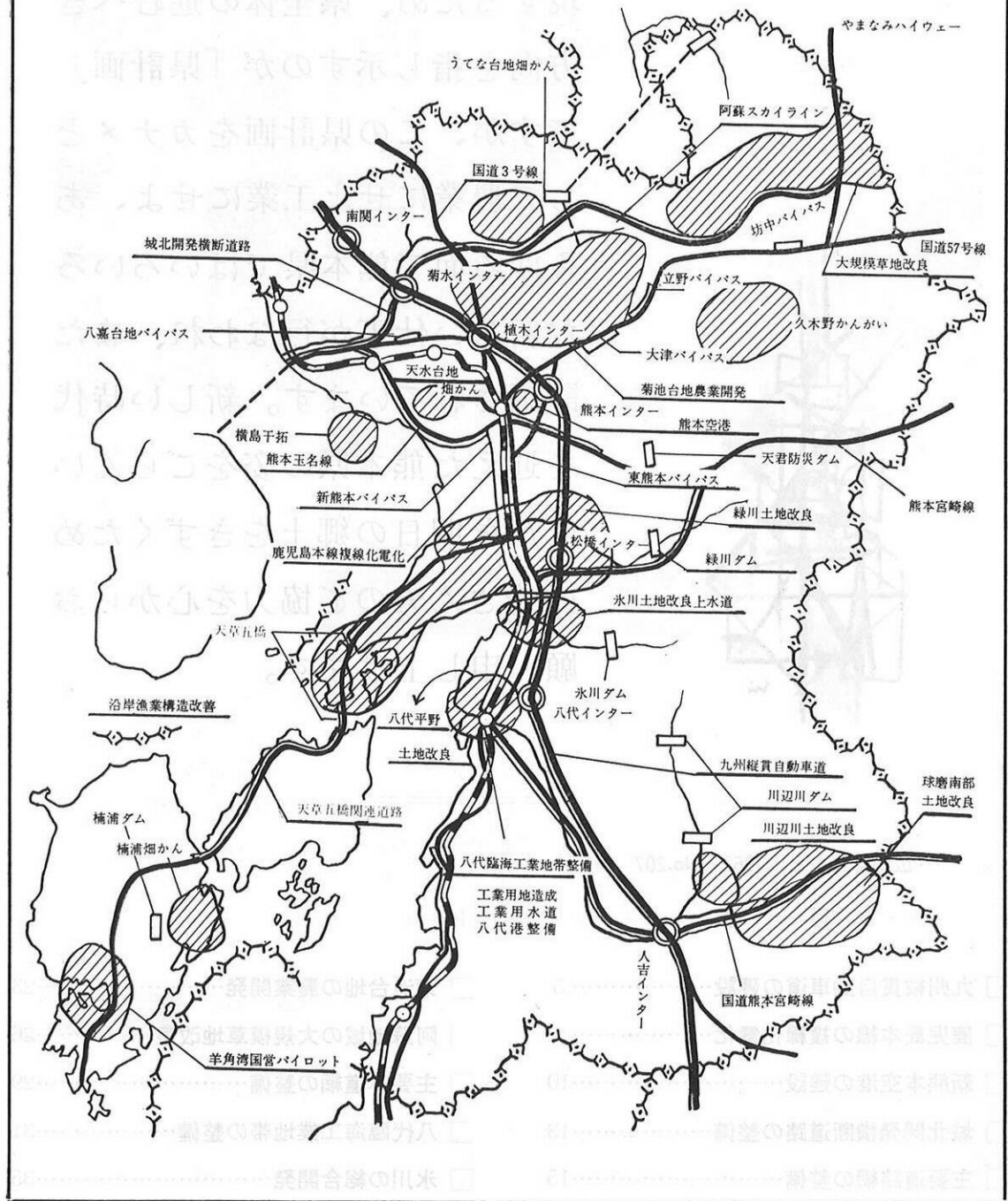


重要事業の展望



九州縦貫自動車道の建設

これまでの経過

九州縦貫自動車道の県内熊本—人吉—えびの（県境）間の基本計画が十一月九日に決定された。このことは本縦貫自動車道を発展のための支柱の一つとして、その早期完成を強く望んでいる百八十万県民にとり非常に喜ばしいことである。

九州縦貫自動車道は、わが国経済の発展による輸送の高速化、大量化、長距離化の要求に答え、国土の普遍的開発を図り、新都市及び新農村の建設を促進することを目的として、「国土開発幹線自動車道建設法」に基づき九州を縦断して建設される自動車専用的高速道路である。

この「国土開発幹線自動車道建設法」に基づき建設される幹線自動車道は、全国三十二路線、延長七千六百キロに及び、このうち九州道、中国道、中央道、北陸道、東北道の五縦貫道を含む四千キロについては、十一年で完成される計画である。

九州縦貫自動車道の起点は北九州、終点は鹿児島市、宮崎市となっており、九

九州縦貫自動車道は、いわゆる大骨核幹線道路であり、今後これを軸として、各種の関連道路をはじめ、河川改修、区画整理など経済開発の基盤が一段と確立され、また熊本は、九州における交通運輸の中心地となり、更に一層の発展が期待されている。

州を縦断する形で県内を通過することとなる。

本県内の九州縦貫自動車道については昭和四十一年七月二十五日に熊本—福岡間（福岡県粕屋郡粕屋町—飽託郡託麻村）百二・一キロについて整備計画が策定された結果、熊本以北（南関—託麻間）三七・五キロが、いよいよ第一期着工区間として着工される運びとなった。

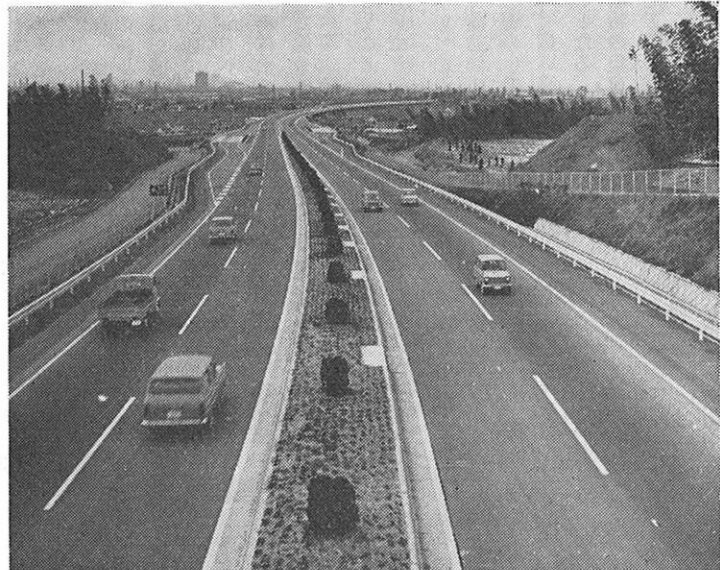
そこで、昭和四十一年十月二十一日には、従来の日本道路公団熊本調査事務所が工事事務所に昇格し、機構や人員も整備充実され、同年十一月中旬にはほとんど三十七・五キロ全線の測量を終了、県の関係部課との設計協議、関係市町村、関係部落ごとの説明会を終り、十二月には、県や地元の要望を加味して計画の調整を行なうとともに、幅杭打、境界線の測量を開始した。

その後、事業の進捗は順調に進み、昭

和四十二年六月一日、県の機構として、熊本県九州縦貫自動車道事務所が発足し、同日付で道路公団よりの用地事務の委託を受けたのである。

中心杭打は、昭和四十一年十二月に完了、今年八月には幅杭打、設計協議を完了した。

そこで、引続き用地買収の価格交渉に入り、九月末には買収価格の提示を行なった。用地交渉については四十二年度中に見通しをつけ、四十六年度完成を目標としての努力が続けられている。



▲九州縦貫道もこのように…（写真は名神高速道路）▼